

保護者回収率: 91%

達成率=(A×4+B×3+C×2+D)/(A+B+C+D)/4×100 ★目標値:80%以上

項目番号	対象	アンケート項目	A	B	C	D	?	達成率	R6第1回
1	教	保護者や地域と連携・協力して教育活動に取り組んでいる	4	5	0	0	0	86%	86%
	児	地域の方や家の人といっしょに学習している	47	26	4	3	0	87%	91%
	保	学校は、保護者や地域と連携・協力して教育活動に取り組んでいる	26	42	3	0	2	83%	81%
	分析改善	各学年で、保護者や地域と連携した教育活動に取り組んでいる。今後も、保護者や地域と連携した教育活動に努め、充実した教育活動にしていきたい。							
2	教	児童は、学校に行くのを楽しみにしている	3	6	0	0	0	83%	81%
	児	学校でみんなと学習したり、遊んだりするのが楽しい	62	15	1	1	0	94%	96%
	保	子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている	19	42	9	0	3	79%	81%
	分析改善	保護者の達成率が目標値の80%を下回ってしまったが、児童の達成率は94%とかい離が見られる。家族の団らん等で学校の様子を共有できるような、魅力ある学校づくりに更に努めたい。							
3	教	児童の学習意欲を高め、主体的に学習する態度の育成を図っている	3	6	0	0	0	83%	92%
	児	自分から進んで授業や家庭学習に取り組んでいる	38	33	7	0	0	85%	87%
	保	子どもは、自分から進んで学習に取り組んでいる	13	35	24	1	0	71%	71%
	分析改善	一人一台端末の有効活用やペア学習・グループ学習による意見交換の場など、主体的な学習に向けた工夫を行っている。しかし、相変わらず保護者の達成率は目標値に届かない。今後、より一層、児童一人一人に分かる楽しさを味わわせ、学習意欲を高めていきたい。							
4	教	家庭学習習慣の定着・向上に努めた	2	7	0	0	0	81%	94%
	児	決められた時間の家庭学習をしている（低30分、中45分、高60分）	53	24	1	0	0	92%	92%
	保	学校は、家庭学習習慣の定着・向上に努めている	14	52	5	0	2	78%	79%
	分析改善	「家庭学習・生活調べ」を通して、家庭学習や生活習慣の定着について日々指導している。保護者と児童の間にかい離が見られるのは、保護者の児童に対する更なる期待の表れではないかと考える。今後は、学校での取組や「家庭学習・生活調べ」の結果を保護者に伝えていきたい。							
5	教	読書意欲の向上に努めた	2	5	2	0	0	75%	94%
	児	目標とするページをめざして読書をしている	40	24	10	4	0	82%	88%
	保	子どもは、学校や家庭でよく読書に取り組んでいる	12	34	19	7	1	68%	72%
	分析改善	図書室の本を少しずつではあるが増やしている。また、読み聞かせ活動や市立図書館の本の入れ替えも行い、読書の環境づくりに努めている。しかし、教職員の達成率は75%と大幅に下がった。読書活動において、児童へ積極的に声掛けを行う必要がある。家庭でも読書の時間を設けるなど、しっかりと読書をするよう声掛けをしていく。							
6	教	主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善に努めた	1	8	0	0	0	78%	81%
	児	先生の授業はよくわかる	60	17	1	0	0	94%	93%
	保	先生は、一人一人によくわかる学習指導をしている	16	43	9	0	5	78%	77%
	分析改善	児童は高い達成率を維持している。先生方の「B」評価が多いのは、謙虚な評価をしたものと考えている。今後は教材研究を重ね、児童一人一人に応じた指導に当たりたい。							
7	教	一人一人の児童に応じた指導・支援ができた	3	6	0	0	0	83%	86%
	児	先生は一人一人の話を聞いてくれる	57	20	0	1	0	93%	95%
	保	学校は、一人一人の話をよく聞いてくれている	21	40	9	0	3	79%	76%
	分析改善	普段の授業や休み時間の様子を見ると、それぞれの先生方が児童に寄り添った態度で関わっている。その成果が、児童の達成率に反映していると考えている。今後、教育相談に全教職員が関わるなど、児童と向き合う時間の確保に努めたい。							
8	教	いじめの早期発見・早期対応、解消に努めた	5	4	0	0	0	89%	97%
	児	いじめのない学校だと感じる	35	34	5	4	0	82%	87%
	保	学校は、いじめ防止に取り組んでいる	16	41	6	0	10	79%	77%
	分析改善	児童との関わりや教育相談、スクールカウンセラーの利用、毎月の「なかよしアンケート」などを通して、いじめの早期発見・早期対応に努めている。1学期、アンケートや教育相談等で、つらい思いをしている児童を数人確認し、すぐに対応した。引き続き、アンケートや日々の児童の様子を注意深く見守り、早期発見・早期対応に尽力する。また、全教職員で情報を共有し、家庭との連携を深める。さらに、学級活動や児童会活動を充実させることで、児童の所属感や自己有用感を高めるなど、いじめの未然防止に努めたい。							
9	教	お互いを思いやる気持ちを育てる教育を行っている	3	6	0	0	0	83%	94%
	児	思いやりの心を持ち、友達と仲良く生活している	51	25	2	0	0	91%	93%
	保	学校は、お互いを思いやる気持ちを育てる教育を行っている	19	40	7	0	7	80%	78%
	分析改善	昨年度の結果と比較すると、保護者の達成率が目標値を達成した。先生方の地道な指導の成果であると考えている。児童は、学級遊びや全校遊びなどに積極的に参加するなど、思いやりを持って仲良く生活する姿が見られる。今後、学校の取組を積極的に発信することで、保護者の評価において「C・?」と解答した保護者が、少しでも「A・B」に移行するよう努めたい。							

項目 番号	対象	アンケート項目	A	B	C	D	?	達成率	R6第1回
10	教	道徳科をはじめ道徳教育の充実に努めた	2	7	0	0	0	81%	86%
	児	道徳の時間に学習したことは役に立つと思う	64	14	0	0	0	96%	94%
	保	学校は、道徳教育の充実に努めている	18	47	1	0	7	81%	77%
	分析 改善	児童評価・保護者評価ともにポイントが上昇し、保護者も目標値を超えた。道徳科を中心として教育活動全体においても、思いやりや互いを認め合う指導を継続している結果だと考える。今後も、授業や日常の指導を通して、道徳的価値観を高めていきたい。							
11	教	児童や保護者が相談しやすい雰囲気づくりができています	2	6	1	0	0	78%	86%
	児	心配なことや悩みがあるとき、大人のの人に相談できる	37	26	11	4	0	81%	89%
	保	学校は、児童や保護者が相談しやすい雰囲気づくりができています	17	45	7	0	4	79%	81%
	分析 改善	全教職員が、積極的に児童、保護者との関わりを持ち、相談しやすい雰囲気づくりに努めている。しかし、児童と保護者の評価が昨年度と比較して下がっており、相談しにくい雰囲気があるようだ。今後、学級担任だけでなく、教職員の誰にでも相談できる雰囲気づくりや、周りの大人に積極的に相談するよう助言する。また、教職員と保護者の連携を密に図っていく。							
12	教	挨拶と返事ができる児童の育成に取り組んだ	3	6	0	0	0	83%	92%
	児	自分から進んで、大きな声であいさつをしている	51	18	8	1	0	88%	93%
	保	学校は、挨拶と返事ができる児童の育成に取り組んでいる	31	38	3	0	1	85%	84%
	分析 改善	昨年度と比べると、教師・児童とも評価が下がっている。全体的に、低学年は元気のよい声で挨拶ができていますが、高学年は元気のない児童も多く、指導する場面もあった。家庭や地域でも元気よく進んで挨拶ができるよう今後も指導していきたい。							
13	教	命を大切にし、安全に気を付ける指導ができた	7	2	0	0	0	94%	94%
	児	自分の命を大切にし、安全に気をつけて生活している	65	13	0	0	0	96%	96%
	保	学校は、命を大切にし、安全に気を付ける指導ができています	22	42	4	0	6	82%	80%
	分析 改善	児童・教職員は、高い達成率となっている。保護者の達成率も上昇した。教育活動全体を通して、告知なしの避難訓練や定期的な避難訓練、日常の安全点検などを積極的に行っている。今後も、命の大切さについて児童とともに考える時間を設け、実践へとつなげていきたい。							
14	教	教育目標を念頭に教育活動に努力している	2	7	0	0	0	81%	86%
15	教	温かく支え合う居心地のよい職場づくりに努めた	4	5	0	0	0	86%	92%
16	教	超過勤務時間の削減に努め、心身の健康管理に努めた	3	4	2	0	0	78%	81%

自由記述(○良い取組 ●御意見・改善点)

保護者	○地域の人たちにも挨拶してる子が多い。 ○あいさつチャンピオン制度。 ○さくらの木になめこ菌打ちをしたこと。 ○子どもたちが、担任以外の先生に相談やお話をする時間を取ってもらっていた。 ○子どもたちが自分自身で目標を決めて、それに対してこつこつと取り組むような働き掛け。(読書何ページとか、赤十字週間の生活チェックなど) ○少しずつでも良いので、一つ一つの積み重ねが大切だと感じている。 ○花植えに行ったり、地域と関わる行事があるところ。 ○時折、子どもの良いところを書いて渡していただいているが、励みになっているようだ。 ●ちょうどいい本を読むようになればいいな、と思っています。→今後、学年に適した本を紹介していきます。また、幅広いジャンルの本も読むように薦めていきます。 ●この夏の暑さが異常です。改善という訳ではなく、今も十分注意していただいているとは思いますが、二学期の運動会練習においてもまだまだ暑いと思うので、熱中症対策をしっかりとお願いしたいです。不可逆的なダメージを負うことは一番避けたいと感じています。→運動会練習も、こまめに休憩や水分補給を行うなど、先生方で共通理解を図りながら熱中症対策を行っていきます。 ●体操服に着替える時、どこか空いてる部屋を使うようにしたいと思っています。→各学年男女別で、教室以外の部屋を割り当てています。今後も、割り当てた部屋を利用するように指導していきます。 ●運動にすこく力を入れるのを語学学習などに変えたらいいのに、と思います。音楽演奏や工作でも。どうして夏休みにまで陸上練習をするのか疑問です。猛暑のこともあるので。→体力づくりについては、教育目標にもある「最後まで、一生懸命やり抜く子」を掲げており、保護者の御理解の下、熱中症防止への対策を講じながら、今後も体力の向上に努めたいと考えています。陸上・水泳練習への参加は希望制としていますので、御都合が悪い場合は御無理をされないでください。 ●夏休みの宿題が、多すぎる。→頂いた御意見の他、「宿題を多く出してほしい。」という保護者も複数おられます。それらの意見を平均した程度の宿題を設定させていただいています。また、夏休みの時間がある時だからこそ取り組んで力にしてほしい宿題もあって出させていただいています。お子様が宿題をする様子を見て、負担過多であると感じた場合は、学級担任と相談をして保護者の判断で適正な量に調整していただいて構いません。 ●以前の奉仕作業時、草刈りの人と子どもの距離が作業をしているとだんだん近くなり、石が飛んできていて危ないと思ったので改善してほしい。→十分な距離を開けて作業をするよう担当者に伝えます。 ●暑い時期の体調管理は、子どもたちは忘れてしまうこともあるかもしれないので、定期的な呼び掛けをお願いしたいです。→貴重な御意見ありがとうございます。今後とも、学校と家庭が連携・協力して児童の安全に努めてまいります。
教師	○職員室の雰囲気が過ごしやすい感じで、安心して職員室で仕事をすることができた。2学期も頑張りたい。 ○地域の方々が学校に協力していただき、地域に根差した教育が進められ大変ありがたい。 ○行事や活動の準備をはじめ、課外活動等を複数の教員で担当して、活動の充実、業務負担軽減を進めることができた。 ○生徒指導事例の情報共有を行いながら、早期の改善、解決に向けて対応できた。 ○管理職の先生方も代教や放課後練習、生徒指導関係の問題等によく関わっていただきありがたい。職場の雰囲気も良いと思う。 ●突発的な行事が多くて、教科学習も進めなければならない、苦慮することもある。 ●提出期限をしっかり守ること。提出の先にはそれを見ている方がいることを念頭に置いてほしい。 ●児童が人の話をしっかり聞くことなど、チームとして指導していきたい。 ●どの子も大なり小なり抱えているものがあると思う。なかなか、ゆっくりと関わる時間は取れないが、できるだけ多くの子どもに声を掛け、少しでも話しができればと思う。